

京都CF!

京の大人の美術、
注文マガジン
(シー・エフ)

を創りたい人、募集中！

現在、「京都CF!」では、編集制作のお手伝いをして下さる方を募集しています。「京都CF!」が好きな方、京の町を遊び回るのが好きな方、原稿を書きたい方、雑誌編集・デジタル編集に興味がある方、ご応募下さい。

私達と一緒に「京都CF!」を創ってみませんか？

まずは郵送にて**履歴書**をお送り下さい。

●問い合わせ先

京都CF編集部
Helpmate募集係 担当 坂東(ばんどう)

〒604-8134

京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル1F

E-mail:bando@m21.or.jp

※今回の募集は**社員募集ではありません**ので
ご了承ください。

※今回電話でのご応募・ご質問は受け付けておりません
のでご了承ください。



INFORMATION

会場の白沙村荘は大正から昭和にかけて活躍した日本画家・橋本關雪の元住宅。現在は「橋本關雪記念館」として一般公開されている。試飲会場から見える庭園では、ちょうど梅が咲き始めた頃だろう。参加希望者は3月18までに「にしむら酒店」へ一方を

「玄人が眉よせて利き酒会」
「試飲するやつやろ」と思う向きもある。うが、実はそれ、大きな誤解。もちろん、飲食店の店主が色々試せるやうに日本酒で、その一般的な感覚で、概が「一度に多くの蔵元の酒好いの」ではない。されど、それは外の参加者は大抵が「一度に日本酒を飲んで、その蔵元の酒が好きなの」だ。蔵元12蔵が勢ぞろいするに至るが、それは蔵元の豪華な仕込みはあるものの、蔵元の条件は「日本酒が好きな人」というただ一点のみ。それをえクリアしていいれば、各蔵元が蔵を選して持参した地酒を飲みつつ、各自の運を授かることとする。さて、どうして幻の酒へんの？！本卖掉つて、「うの幸運つて、お酒をもらひ残つて？」なんて幻の酒を巡る直談判もOKとくりや、ほらもう多いのでは？

●春の「一酒一會」

日時：3月13日（日）14:00～17:00
会場：白沙村荘 橋本關雪記念館
京都市左京区浄土寺石橋町37
参加蔵元：秋鹿・奥播磨・風の森・喜楽長・小鼓・七本鎌・大治郎・酒香童子・月の桂・竹生嶺・不老泉・桃の洞
参加費：2000円
問い合わせ先：にしむら酒店 ☎ 075-781-3049
<http://nishimura.to/sakaewine/>

今出川通→光明院寺
白川通
哲学之道
瀬戸谷通

全6品に1ドリンクサービスの「レディースコース」3900円は平日限定のコース。季節の「揚げ小芋と豚トロの隼巣あんかけ」は「ヘルシー」が嘘ではなくて食べ応えもあるものを考案した末の一品



**お望み高めのおねえさんも
カロリーひとつにご満足**

お駒染み町家を改築した
店内は、黒が基調の落ち着いた空間。丼物の個室
使用を希望するなら、予約するのが無難



●玄
げんげん

■京都市中京区堀町通三条上ル菊屋町517-1

☎ 075-222-6955

○17:30～23:00

金土祝前日～23:00



女は何年もやつてるとこしてもワガママも増えるわけで、「いろんなものをちょっとずつ食べたい」「でもカロリー低めじゃなきイヤ」と、おねえさま方のお望みは天井知らず。そんな欲張りかつ矛盾をはらんだオーダーにも、果敢に立ち向かった結果がこのコース。何よりも「ヘルシーか否か」を気にする女性客のために、豆乳などを巧みに取り入れ、カロリーはなんと通常コースの1/2ほどに抑えることに成功。さらにはお肌のことまで配慮して、コラーゲンたっぷりの豚トロをメインに据えたという心優しきお気遣いっぷり。「でも絶対に別バラって言わはるから」と、最後は2種類のデザートでシメてくれるあたり、ホントにもう、よく解ってくれてます。